



ま な び や

令和7年10月号
R7. 9. 29発行
海田町立海田小学校



学校経営理念「心と心が響き合う学校」

学校教育目標「感性を磨く ～気づき 考え 行動する 海小っ子の育成～」

感性を磨く道徳参観日

～海田町は今年度も道徳教育に力をいれています～

9月5日（金）、全学級が道徳科の授業を行う道徳参観日を開催しました。

海田町では、今年も子供同士の関わり合いを大切にしながら、「自己肯定感を高め、自信をもって学習に取り組んだり学校や地域での生活を送ったりすることができる」子供たちの姿を目指し、町内の小中学校全体で道徳教育に力を入れています。本校は今年度、週に一度の道徳の時間に担任と道徳担当の教諭が声に出す活動と対話を重視した授業をT・Tで行い、主体的で意欲的に生き方を学ぶ道徳科の学習をめざしています。そして、今年度は、参観後に道徳懇談会を開催して、授業や道徳教育についての交流をしました。授業の中で保護者の方にご参加いただいた学級もあったかと思います。ご協力いただき、ありがとうございました。このように今回の道徳参観日・懇談会は、懇談会でも説明があった通り、子供たちが地域・保護者の皆様と道徳という教科を通して、つながる取組の一つとして行いました。ぜひ、ご家庭でも今回の参観日をきっかけに道徳の授業のことも話題にされ、「もし私だったら〇〇とを感じるから～すると思うよ。」等と、お子様と一緒に対話、議論してみてください。声に出し、対話することで、きっとお子様の内面がきらきらと輝き、道徳的实践力が育まれると思います。



「輪」～自分たちの成長を実感した絆を深めた修学旅行～

9月17日（水）・18日（木）、6年生は香川県に修学旅行に行きました。天候が心配された2日間でしたが、見学のときはいつも雨が上がり、熱中症を心配することなく過ごしやすい修学旅行日和でした。1日目は、さぬきうどん作りやうちわづくり、金毘羅宮、四国水族館を通して香川県の文化や伝統、生命や自然の大切さについて学びました。そして2日目は、レオマワールドで仲間とアトラクション等を楽しみました。学年目標である「輪」を意識したこの2日間は、子供たちの自信となり、学級、学年の絆を深めるよい経験になったと思います。小学校生活も残り半年となりました。海田小学校のリーダーとしてのさらなる活躍が楽しみです。修学旅行に向け、6年生の保護者の皆様、体調管理や準備、送迎等、心をかけてくださりありがとうございました。



修学旅行を振り返って

松野 妃那

1日目はうどん作り、商店街、水族館、2日目にはレオマワールドに行きました。全部楽しかったけど、私がいちばん楽しかったのは寝るときです。消灯時間までは、UNOをして過ごしていました。少しの時間しかできなかったけど、とても楽しかったです。この修学旅行ではいろいろなことを学びました。まず、ホテルでのマナーやルールを守ったり、ほかに泊まりに来ている人にあいさつをしたりすることです。そして時間を守ることを学びました。少しでも遅れると、他の人にも迷惑になってしまいます。修学旅行で学んだことをこれからの生活にもいかしたいです。とても楽しい修学旅行になりました。

食を楽しむ子供たち～給食試食会～

9月17日（水）に1年生の保護者対象に給食試食会を行いました。本校の宮田栄養士が学校給食について説明した後、1年生の教室に移動していただき、食事の様子を参観していただきました。その後、会場に戻り、子供たちと同じカフェテリア形式で給食を準備し、試食をしていただきました。試食会後のアンケートでは「学校の給食は塩分を控えているといわれたが、だしや素材の味がしっかり出ていて大変おいしかった。」「我が家の味付けの参考になった。塩分を控えていきたい。」「子供たちがおいしいといっているのが実感できた。」「子供たちの食べられる量を調節してくださっていたので有難かった。」など、うれしいお言葉をたくさんいただきました。これからも給食を通して食を楽しむ子供たちを育んでいきます。



たくさんの本と出会う機会をいただきました

8月19日（火）第一生命労働組合広島総合支部様より、図書に関する寄付をいただきました。学校図書館司書と相談の上、子供たちの好きな本、おすすめの本を選ばせていただき、本校の読書活動向上に役立たせていただきます。ありがとうございました。



本館・体育館トイレに擬音装置を設置していただきました

9月5日（金）道徳懇談会終了後、PTAの本部の方々が本館と体育館の洋式トイレの全室にトイレ用擬音装置を設置していただきました。「ぜひ、全個室にトイレ用擬音装置を設置してほしい。」という児童の声に応え、PTA会費で購入していただきました。残暑厳しい中、子供たちのために作業をしていただきありがとうございました。子供たちも大変喜んでいました。



海小っ子の活躍を紹介します！

「体力アップ貯金カード」優秀者表彰

海田小学校では、長期休暇中も継続して体力づくりを応援する「体力アップ貯金カード」の取組を行っています。基本的な運動を50ポイント、チャレンジ運動100ポイントを休み中継続的に続ける活動です。今年の夏は酷暑でしたが、1、2年生は、20000パワー以上、3年生以上は30000パワー以上を達成した児童がなんと45名いました。もうすぐ「スポーツの秋」。高学年は記録会を控え、また、全校児童は12月に完走大会が控えています。今から、さらなる体力アップをめざして継続的に、心身ともに健康な体づくりに取り組んでいってほしいと思います。

1年	石原 亮平	杉原 遼太	松尾 悠太朗
	吉川 希星	築村 真穂	奥家 梨公
	上實 律稀	田川 寛幸	出村 陽向
2年	小福川 太一	住田 拓実	樫谷 紗那
	三村 麻都香	木下 加惟	平井 航志
	望月 悠	金原 結奈	
3年	上田 瑛大	竹川 由海	為数 東吾
	鳥居 凜	亀田 明里	山崎 健人
	竹野内 祐希	三宅 佑和	ビクトリアニコ
4年	大川 湊亮	伊藤 芽生	植田 莉子
	小福川 綾	芝田 蓮弥	原田 昴太郎
5年	板本 陽翔	亀田 悠真	白井 誠慶
	為数 雅弥	西川 絢杷	加藤 駿
	小沢 匠	吉村 優樹	
6年	打川 葉多	中川 晴樹	吉田 斗真
	染谷 知佐	近藤 一磨	



「カイトチャレンジカード」達成者

青少年育成海田町民会議の活動である「カイトチャレンジカード」事業は子供たちに定着した活動となっています。町内で行われるイベントなどに参加してもらえるシールをためると、記念品がもらえます。夏休みにチャレンジカードを達成した児童が今年は昨年より多い21名でした。まだまだチャレンジカードは続きますので、引き続き、海田町の行事やイベントに積極的に参加して、1人でも多くの子供たちがチャレンジカードを達成してほしいです。

1年	三國 優輝	井上 彩梨菜
2年	住田 拓実	芝田 桃寧
	木下 加惟	藤岡 航
3年	飯井 颯祐	児嶋 美波
	佐々木 晴雨	松村 勇吾
4年	北島 彩羽	三浦 奈桜
	芝田 蓮弥	住田 眞美
	中野 鈴花	松本 花奈
5年	井上 果梨菜	窪田 羽花
	寺本 菜央	
6年	吉田 斗真	芝田 柚奈



将来の夢や目標に向かって～中学校職場体験～

9月2日（火）から4日（木）までの3日間、海田西中学校の2年生3名が、海田小学校で職場体験を行いました。この職場体験は、ふるさとを愛し、ふるさとに誇りをもちながら、将来の夢や目標に向かって「生きる」ことができる生徒の育成を目指した取組として行われています。3名の生徒は主に高学年の教室で過ごし、陸上練習を手伝ったり、図書室の環境整備等を行ったりしました。3名の中には卒業生もあり、学校のために自ら進んで動く先輩の姿は、児童にとって憧れの存在だったと思います。



海田町学校意識調査に係る海田小学校の取組

11月20日(木)～27日(木)に、海田町の公立小中学校の保護者の方を対象に学校意識調査を実施します。この調査に関連して、海田町の方針に伴う海田小学校の取組を紹介します。調査は後日持ち帰る児童用タブレットを使用して行います。ご協力お願い申し上げます。

	項 目	取 組
1	学ぶ意欲を高める授業づくり	児童が主体的に学ぶ意欲を高めるため、各種の学力調査や意識調査をもとに児童の学力を分析し、課題解決に向け、授業担当者全員が一人一授業以上互いに授業を見合い、授業力の向上を目指して研修を行っています。対話を大切にした授業づくりについて教員がベクトルを揃え、日々研鑽を積んでいます。
2	学力向上に向けた取組	振り返りを活用した指導、声に出す活動の充実(音読・朗読・歌唱：ドミソ発表会など)や書く活動の充実(海小タイム、作品応募)を行っています。低・中学年では昨年度に引き続き認知機能トレーニングとして「コグトレ」を実施したり、ドリルタイムで読解力、表現力を重視した課題に全児童で継続的に取り組んだりして、基礎学力の定着に向け取り組んでいます。
3	ICT機器を効果的に活用する授業づくり	発達段階に応じて、電子黒板やタブレットを効果的に活用した授業づくりを行っています。また、基礎学力の定着のために、個々の学習状況を提示するなどのAI機能をもったタブレットドリルや中学年では「コグトレトレーニング」を活用しています。
4	グローバル人材育成事業の充実	外国語科専科(高学年)やALT(外国人指導助手：全学年)が配置されており、児童はネイティブな発音に触れながら児童のコミュニケーション力を目指した授業を受けることができます。
5	「心の元気」全町展開プロジェクト事業の充実	校内で行っている挨拶運動に加え、海田西中学校区で、毎月1回の挨拶運動や3校合同での挨拶運動やクリーンキャンペーン、生徒指導連絡会、植栽活動を行っています。学期に一度子供たちが選出した「挨拶名人」表彰を行い、名人はリーダーとして挨拶をさらに推進しています。
6	幼保小連携の推進	町内の幼稚園、保育所、こども園と連携し、保育参観や授業参観、連絡会や交流会を行うことで、幼保小の架け橋としてよりよいスタートカリキュラムを作成することで、スムーズな入学へとつなげています。
7	防災教育の推進	海田町防災課や広島県みんなで減災推進課と連携した授業や避難訓練を行い、防災意識を高めています。特に4年生が総合的な学習の時間の中で取り組んでいます。
8	競技力向上推進事業	12月に瀬野川河川敷で全校児童による完走大会を実施しています。また、海田町陸上記録会や海田高等学校陸上部と連携した陸上教室を年に2回実施し、児童の競技力を向上させています。月1回のロング昼休憩や長期休業中の体力アップ貯金、外遊び週間で子供たちの基礎体力を向上させる取組を行っています。
9	食育の推進	栄養士や健康委員会を中心に食の大切さを広めています。また、海田町栄養士部会が朝ごはん川柳、朝ごはんレシピを募集し、優秀作品の表彰を通して食育の啓発を行っています。年に1度給食試食会を開き、学校給食や食育について発信しています。
10	読書活動の推進	司書教諭や学校司書、図書委員会を中心として、図書室の整備や読書量を増やす取組を行っています。高学年の希望者を中心にこども司書養成講座に参加したり、夏休みには親子で読書を楽しむ親子読書、担任以外の教員が読み聞かせをするドキドキ読書、ビブリオバトル、ブックフェスなどを行ったりして読書活動の質を高めています。
11	登下校時の安全確保の取組の充実	学校では、学期に2回通学路の安全点検を兼ねて交通班や登下校指導を行っています。PTA地区委員、保護者、地域ボランティアの皆様には、毎日の登下校の安全確保を行っていただいています。荒天等時には教員が校区の安全点検を行ったり、登下校の見守りをしたりしています。
12	特別支援教育の充実	本校には、にこにこ学級(自閉症・情緒学級、知的学級)、きらきら教室(通級指導教室)があります。特別支援教育コーディネーター、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等が、個々の実態に応じた指導支援の相談を受け付けています。
13	指定学校変更及び区域外制度に係る制度	教育的配慮が必要と判断される場合や指定学校に希望する部活動がない場合などに指定校区域外の学校に変更できる制度があります。
14	青少年サポート事業の充実	本校には、学校での「居場所」として「あおぞらルーム」があり、「相談する力」「自分の強みを知り、生かす力」「苦手な場面でSOSを出す力」を育てていくために、環境や相談体制を整えています。また、海田町には、個々のペースで過ごすことのできる「サンサンルーム」という適応指導教室があり、利用することができます。